

東田大通り公園における民間活力の導入について

東田大通り公園に新たな価値を付加し、より魅力的な公園にするため、北側エントランス広場における、Park-PFI手法を用いた民間活力の導入について報告します。

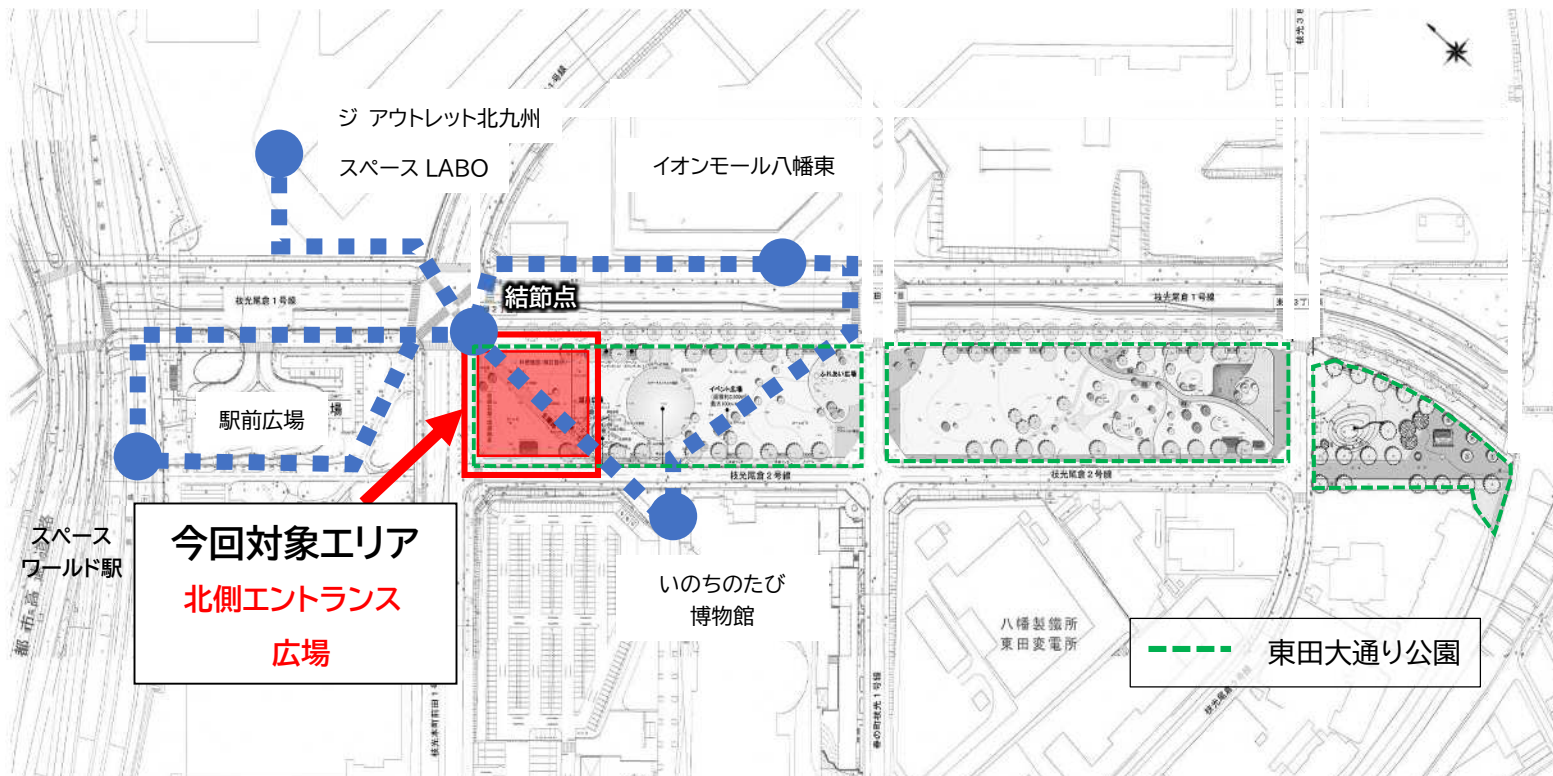
1 東田大通り公園の現状と課題

- 東田地区の中心に位置し、文化観光施設や商業施設に近接する都市型オープンスペース
- 起業祭をはじめとする地域を代表する大規模イベントの開催など交流や賑わいを創出
- 一方で、市民が日常的に利用し、普段使いができる公園としての役割も求められている

2 東田大通り公園の目指す方向性

- 日常の「健康・遊び・憩い」といった使い方から、非日常の「イベント・賑わい」まで、多様なニーズに対応
- 周辺施設をつなぐエントランス広場に、民間による便益施設を設けることで、家族連れや地域住民が気軽に立ち寄り、心地よい時間を過ごせる空間づくりを目指す

【東田大通り公園平面図】



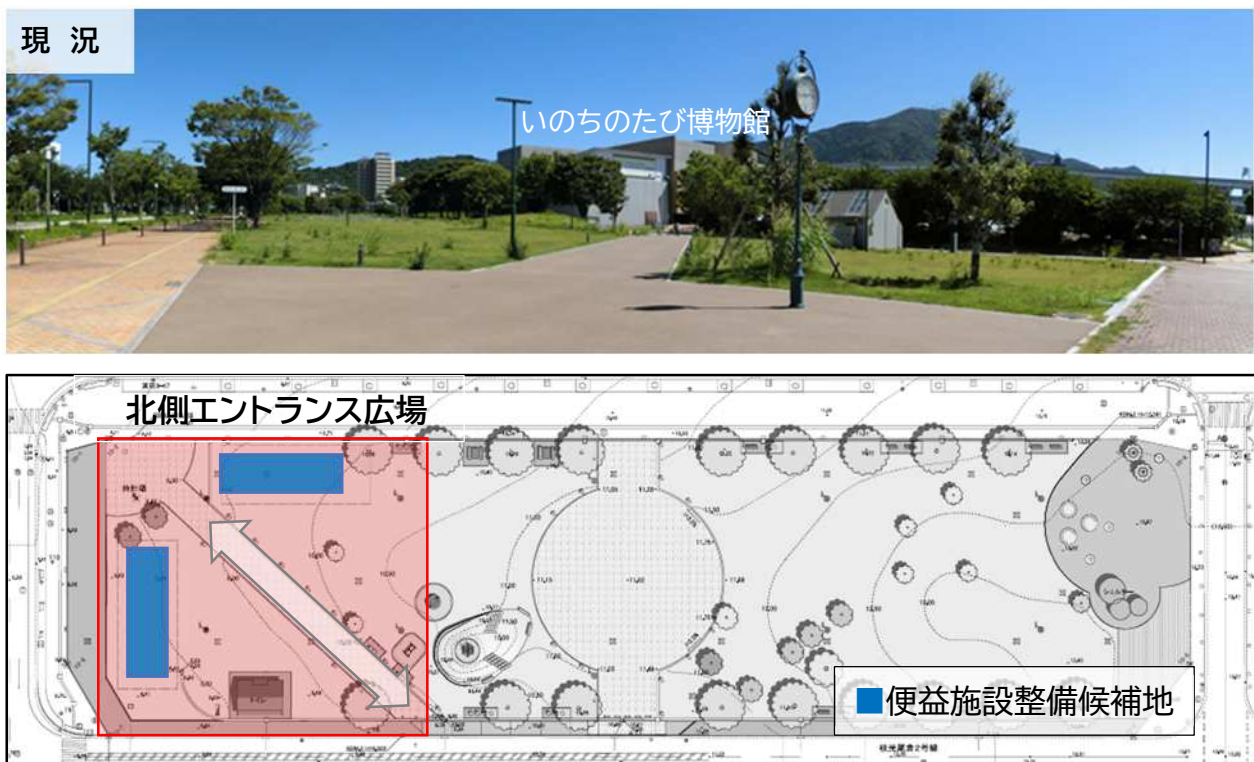
3 北側エントランス広場の整備方針

(1)コンセプト 東田のまちとひとが繋がる、家族で楽しめる憩いの空間

(2)求める機能

- ①東田地区のゲートとして印象づけるランドマーク要素
- ②公園利用者がゆっくりと時間を過ごす便益施設

(3)事業期間 20年間



4 今後のスケジュール(予定)

- 令和7年 10月23日(木)～11月28(金) 募集要項(案)に対する意見聴取
- 令和7年 12月 聴取した意見のとりまとめ、募集要項の策定
- 令和8年 1月 公募の開始
- 令和8年 6月 事業者の決定